

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
理科・生物基礎		保健医療科・2年	2	生物基礎（実教出版）
科目の概要と目標		日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通じて、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに科学的に探究しようとする態度を養う。		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1・2 学期	1章 生物の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性 ・生物とエネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性・共通性と起源の共有について理解する。 ・細胞とその構造について理解する。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解する。 	
	第2章 遺伝子とその働き	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報とDNA ・遺伝情報とタンパク質の合成 	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの構造を示す資料に基づいて、DNAの特徴、塩基の相補性とDNAの複製について理解する。 ・DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係について理解する。 	
	第3章 ヒトのからだの調節	<ul style="list-style-type: none"> ・体内環境 ・体内環境の維持のしくみ ・免疫 	<ul style="list-style-type: none"> ・体内環境の変化に応じた体の調節に神経系と内分泌系が関わっていることを理解する。 ・ヒトの体内環境は、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解する。 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解する。 	
3 学期	第4章 生物の多様性と生態系	<ul style="list-style-type: none"> ・植生と遷移 ・気候とバイオーム ・生態系と生物の多様性 ・生態系のバランスと保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・植生は、土壌や光環境の変化によって遷移の進み方が異なってくることを理解する。 ・地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解する。 ・生物系における生物の種多様性と生物間の関係性について理解する。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解する。 	